

平成 24 年度 事業計画

(自平成 24 年 4 月 1 日～至平成 25 年 3 月 31 日)

まえがき

政府が平成 23 年 12 月に発表した「平成 24 年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」によると、平成 24 年度は「我が国の景気は緩やかに回復していくことが見込まれる。」とのことであるが、電力関連分野の産業界への東日本大震災の影響は大きく、電気学会を取り巻く事業環境は暫らく厳しい年が続くものと思われる。

その一方で、安全・安心・持続可能な電力システム実現に向け、世界各国でいわゆるスマートグリッドへの取り組みが進められており、グローバルなレベルで電気関連分野の貢献と先導的かつ積極的な展開が待たれるものと考えられる。

このような中、電気学会は、新たに一般社団法人としてスタートし、中長期ビジョンに示す 7 つの基本政策に沿った事業を定款に基づき着実に展開し、電気学術の発展に寄与し社会に貢献するとともに、会員に対して快適な場を提供していくこととする。

電気学会の 7 つの基本政策

1. 戦略的活動の推進
2. 社会のニーズに対応した情報発信
3. 国際化に向けた体制の強化
4. 将来を担う人材育成の強化
5. 学術的・人的資産の有効活用
6. 快適かつ効率的な手段や場の提供
7. 健全な組織運営基盤の再構築

平成 24 年度の重点実施項目としては、一般社団法人への移行後の的確かつ円滑な運営に注力していくことはもとより、電気学会が目指す安全・安心・スマート社会構築に向け、引き続き部門間連携や学際領域への取組を推進するとともに、活動の見える化と社会への発信力を高めていく。また、今後の収入減少を前提とした事業運営を心がけ、財務体質の改善を目指していく。

平成 24 年度の事業計画を以下の通りとする。

1. 会員に関する事項【定款第 3 章】

- (1) 平成 24 年度の会員数は、下表のように想定する。
- (2) 会員制度の充実と会員増加策

継続して個人会員・事業維持員の会員増員・退会防止策を展開する。特に、大学院修了後の会費割引制度やシニア割引制度のフォローを行い、ジュニア向け HP を充実する。

	名誉員 正員	准員	学生員	計	事業維持員
23 年 度 末 会 員 数	19,809	365	3,047	23,221	437 社 (3,081 口)
入 会 ・ 復 会 予 定	976	21	1,616	2,613	7 社 ( 18 口)
種 別 変 更	正 ⇒ 学	-28	0	28	0
	准 ⇒ 正	100	-100	0	0
	准 ⇒ 学	0	-147	147	0
	学 ⇒ 正	673	0	-673	0
	学 ⇒ 准	0	314	-314	0
退 会 予 測	-2,125	-232	-165	-2,522	-29 社 ( -37 口)
増 減	-404	-144	639	91	-22 社 ( -19 口)
24 年 度 末 会 員 数 ( 推 定 )	19,405	221	3,686	23,312	415 社 (3,062 口)

2. 役員等に関する事項【定款第 3, 5 章】

アンダーラインで平成 24 年度改選された方を示す。

(1) 平成 24 年度本部役員

- 理 事：柵山正樹（三菱電機）  
 同：日高邦彦（東京大学）  
 同：一枝圭祐（三菱電機）  
 同：福田 隆（関西電力）  
 同：岡本達希（電力中央研究所）  
 同：土井美和子（東 芝）  
 同：塩原亮一（日立製作所）  
 同：竹内 昭（中部電力）

- 同：中川聡子（東京都市大学）  
 同：栗原郁夫（電力中央研究所）  
 同：島田敏男（電気学会）  
 同：新藤孝敏（電力中央研究所）  
 同：大山 力（横浜国立大学）  
 同：福本 亮（東 芝）  
 同：河村篤男（横浜国立大学）  
 同：庄子習一（早稲田大学）  
 同：吉本浩昌（北海道電力）  
 同：矢萩保雄（東北電力）  
 同：横山明彦（東京大学）

同 : 石田篤志 (中部電力)  
同 : 作井正昭 (富山大学)  
同 : 玉置 久 (神戸大学)  
同 : 松岡秀夫 (中国電力)  
同 : 山地幸司 (四国電力)  
同 : 秋山秀典 (熊本大学)  
監 事 : 薄田春樹 (エクシム)  
同 : 海田英俊 (富士電機)

(2) 平成 24 年度部門役員

A 部門

部 門 長 : 通常総会後の理事会の決議による  
編 修 長 : 小野 靖 (東京大学)  
副部門長 : 寺井清寿 (東 芝)  
同 : 匹田政幸 (九州工業大学)  
総務企画担当 : 西川宏之 (芝浦工業大学)  
同 : 田中俊哉 (ビスキャス)  
会計担当 : 森田 裕 (日立製作所)  
同 : 釣本崇夫 (三菱電機)  
編修担当 : 政宗貞男 (京都工芸繊維大学)  
同 : 中野俊樹 (防衛大学校)  
研究調査担当 : 早乙女英夫 (千葉大学)  
同 : 足立和郎 (電力中央研究所)  
監 事 : 田島克文 (秋田大学)  
同 : 竹村泰司 (横浜国立大学)

B 部門

部 門 長 : 通常総会後の理事会の決議による  
副部門長 : 松本 聡 (芝浦工業大学)  
同 : 福井伸太 (三菱電機)  
総務企画担当 : 西岡 淳 (日立製作所)  
同 : 中村 正 (東 芝)  
会計担当 : 寺崎 学 (三菱電機)  
同 : 八木 学 (中部電力)  
編修担当 : 石亀篤司 (大阪府立大学)  
同 : 市川路晴 (電力中央研究所)  
研究調査担当 : 鈴木立夫 (富士電機)  
同 : 馬場吉弘 (同志社大学)  
広報・国際化担当 : 植田喜延 (明電舎)  
同 : 中野 茂 (電源開発)  
監 事 : 竹島尚弘 (関西電力)  
同 : 吉富慶司 (フジクラ)

C 部門

部 門 長 : 通常総会後の理事会の決議による  
副部門長 : 神保泰彦 (東京大学)  
同 : 福山良和 (富士電機)  
総務企画担当 : 原 直紀 (富士通研究所)  
同 : 植田健司 (関西電力)  
会計担当 : 福澤寧子 (日立製作所)  
同 : 佐藤浩二 (日本電気)  
編修担当 : 佐伯勝敏 (日本大学)

同 : 北山匡史 (三菱電機)  
研究調査担当 : 大浦邦彦 (国士舘大学)  
同 : 大橋裕之 (東 芝)  
広報・情報化担当 : 濱上知樹 (横浜国立大学)  
同 : 恩田寿和 (明電舎)  
監 事 : 飯間 等 (京都工芸繊維大学)  
同 : 大場英二 (電力中央研究所)

D 部門

部 門 長 : 通常総会後の理事会の決議による  
編 修 長 : 竹下隆晴 (名古屋工業大学)  
副部門長 : 大石 潔 (長岡技術科学大学)  
同 : 大山和伸 (ダイキン工業)  
総務企画担当 : 松本 康 (富士電機)  
同 : 藤田英明 (東京工業大学)  
会計担当 : 山下隆司 (NTT ファシリティーズ総合研  
究所)  
同 : 川上紀子 (東芝三菱電機産業システム)  
編修広報担当 : 中沢洋介 (東 芝)  
同 : 村上俊之 (慶應義塾大学)  
研究調査担当 : 大崎博之 (東京大学)  
同 : 井出一正 (日立製作所)  
国際担当 : 清水敏久 (首都大学東京)  
監 事 : 三木一郎 (明治大学)  
同 : 藤田光悦 (富士電機)

E 部門

部 門 長 : 通常総会後の理事会の決議による  
副部門長 : 三原孝士 (マイクロマシンセンター)  
同 : 宮原裕二 (東京医科歯科大学)  
総務企画担当 : 肥後昭男 (東京大学)  
同 : 山本貴富喜 (東京工業大学)  
会計担当 : 野田和俊 (産業技術総合研究所)  
同 : 三林浩二 (東京医科歯科大学)  
編修担当 : 山下 馨 (京都工芸繊維大学)  
同 : 秦 誠一 (東京工業大学)  
研究調査担当 : 大東良一 (大日本印刷)  
同 : 澤田和明 (豊橋技術科学大学)  
監 事 : 新荻正隆 (セイコーインスツル)  
同 : 田畑 修 (京都大学)

(3) 平成 24 年度支部役員

△印は支所長を示す。

北海道支部

支 部 長 : 通常総会後の理事会の決議による  
総務企画幹事 : 原 亮一 (北海道大学)  
同 : 嶋崎雅樹 (北海道電力)  
会計幹事 : 竹本真紹 (北海道大学)  
同 : 金森幸宏 (北海道電力)  
協 議 員 : 石丸勝之 (北海道電力)  
同 : 小笠原悟司 (北海道大学)  
高橋宜久 (新日本製鐵)

高橋理音（北見工業大学）  
大場みち子（公立はこだて未来大学）  
小松正明（釧路工業高等専門学校）  
酒井 彰（室蘭工業大学）  
鈴木寛治（電源開発）  
土田徳造（北海道旅客鉄道）  
槌本昌則（北海道工業大学）

監 事：野口 聡（北海道大学）

#### 東北支部

支 部 長：通常総会後の理事会の決議による

総務企画幹事：樋口祐治（東北電力）

同 　　：遠藤 恭（東北大学）

会計幹事：池田正二（東北大学）

同 　　：工藤英明（東北電力）

協 議 員：△信山克義（八戸工業大学）

同 　　：△杉本俊之（山形大学）

瀬川 恭（ユアテック）

樋浦 昇（東日本旅客鉄道）

松倉文礼（東北大学）

△水戸部一孝（秋田大学）

阿部俊三（東北工業大学）

安藤 晃（東北大学）

小野保彦（東北電力）

齋藤 敏（東北電力）

菅谷純一（仙台高等専門学校）

△道山哲幸（日本大学）

宮澤正樹（東北学院大学）

△向川政治（岩手大学）

監 事：家名田敏昭（東北文化学園大学）

#### 東京支部

支 部 長：通常総会後の理事会の決議による

総務企画幹事：横山孝幸（東 芝）

同 　　：太田 浩（東京電力）

会計幹事：渡辺能康（日立製作所）

同 　　：渡辺隆夫（電力中央研究所）

協 議 員：△秋津哲也（山梨大学）

同 　　：△石川赴夫（群馬大学）

△作田幸憲（日本大学）

△里 周二（宇都宮大学）

佐藤之彦（千葉大学）

炭谷憲作（明電舎）

関 清隆（鉄道総合技術研究所）

瀬戸晴彦（東京電力）

田中祥造（富士通テレコムネットワークス）

田中秀郎（ビスキャス）

千葉 明（東京工業大学）

野村新一（明治大学）

△橋詰俊成（矢崎電線）

藤本康孝（横浜国立大学）

△村上俊之（慶應義塾大学）

森下明平（工学院大学）

山崎健一（電力中央研究所）

横田 健（新日本製鐵）

△渡部英二（芝浦工業大学）

△池畑 隆（茨城大学）

伊藤 徹（富士電機）

井上修和（三菱電線工業）

井 通暁（東京大学）

植原弘明（関東学院大学）

加藤二二和（東京電力）

久保亮吾（慶應義塾大学）

塚田路治（三菱電機）

△恒岡まさき（長岡工業高等専門学校）

野村京哉（電源開発）

林 泰弘（早稲田大学）

林屋 均（東日本旅客鉄道）

枘川重男（東京電機大学）

宮路秀幸（東 芝）

森瀬 剛（日立製作所）

監 事：亀田秀之（電力中央研究所）

#### 東海支部

支 部 長：通常総会後の理事会の決議による

総務企画幹事：伊藤裕章（中部電力）

同 　　：小島寛樹（名古屋大学）

会計幹事：梶田 信（名古屋大学）

同 　　：川福基裕（名古屋工業大学）

協 議 員：岩崎 誠（名古屋工業大学）

同 　　：後田澄夫（豊田工業高等専門学校）

大林和良（デンソー）

貝谷敏之（三菱電機）

酒徳修吉（シンフォニアテクノロジー）

鈴木健一（中部電力）

滝川浩史（豊橋技術科学大学）

田代晋久（信州大学）

辻村 勲（富士電機）

鳥井昭宏（愛知工業大学）

西部祐司（豊田中央研究所）

小林 浩（トーエネック）

神保睦子（大同大学）

野口季彦（静岡大学）

林 朋宏（日本ガイシ）

東山雅一（東 芝）

古橋 武（名古屋大学）

吉田弘樹（岐阜大学）

監 事：市村正也（名古屋工業大学）

#### 北陸支部

支 部 長：通常総会後の理事会の決議による

総務企画幹事：伊藤弘昭（富山大学）

同 : 山岸良雄 (北陸電力)  
会計幹事: 浅岡由伸 (北陸電力)  
同 : 柳橋秀幸 (金沢工業高等専門学校)  
協議員: 阿黒克俊 (関西電力)  
同 : 大路貴久 (富山大学)  
桑島史欣 (福井工業大学)  
竹内要一 (北陸電力)  
深見 正 (金沢工業大学)  
松本和憲 (富山県立大学)  
大坪 茂 (石川工業高等専門学校)  
川崎章司 (福井大学)  
川崎拓哉 (北陸電力)  
川本 昂 (福井工業高等専門学校)  
田中康規 (金沢大学)  
西 敏行 (富山高等専門学校)  
監 事: 田岡久雄 (福井大学)  
関西支部  
支 部 長: 通常総会後の理事会の決議による  
総務企画幹事: 中村武恒 (京都大学)  
同 : 大森敏明 (神戸大学)  
会計幹事: 高橋康人 (同志社大学)  
同 : 田村立博 (関西電力)  
協議員: 安部晴也 (ダイヘン)  
同 : 川原敬治 (西日本旅客鉄道)  
軸屋尚久 (関西電力)  
原 尚之 (大阪府立大学)  
藤川歳幸 (日立製作所)  
松川直弘 (日新電機)  
三浦友史 (大阪大学)  
山口利幸 (和歌山工業高等専門学校)  
米津大吾 (関西大学)  
米森秀登 (神戸大学)  
上田晃司 (三菱電機)  
上野秀樹 (兵庫県立大学)  
薄 良彦 (京都大学)  
瀬越忠男 (パナソニック)  
題府武史 (阪急電鉄)  
中西辰雄 (住友電気工業)  
服藤憲司 (立命館大学)  
見市知昭 (大阪工業大学)  
湯本真樹 (近畿大学)  
監 事: 重松敏夫 (住友電気工業)  
中国支部  
支 部 長: 通常総会後の理事会の決議による  
総務企画幹事: 久保川淳司 (広島工業大学)  
同 : 西原 徹 (中国電力)  
会計幹事: 栗栖重久 (中国電気保安協会)  
同 : 川本成志 (中国電力)  
協議員: 堺 健司 (岡山大学)

同 : 原田直幸 (山口大学)  
丸谷祐司 (JFE スチール)  
山内雅弘 (近畿大学)  
市野邦男 (鳥取大学)  
佐々木豊 (広島大学)  
佐藤光廣 (中国電機製造)  
西尾公裕 (津山工業高等専門学校)  
濱田勝也 (誠和工機)  
日高良和 (宇部工業高等専門学校)  
箕田充志 (松江工業高等専門学校)  
監 事: 稲山茂実 (中国電力)  
四国支部  
支 部 長: 通常総会後の理事会の決議による  
総務企画幹事: 山口順一 (香川大学)  
同 : 古川富福 (四国電力)  
会計幹事: 漆原史朗 (香川高等専門学校)  
同 : 馬場弘幸 (四国電力)  
協議員: 大屋英稔 (徳島大学)  
同 : 生越重章 (香川大学)  
富田規嗣 (四国電力)  
星野孝総 (高知工科大学)  
松木寿夫 (三菱電機)  
弓達新治 (愛媛大学)  
井堀春生 (愛媛大学)  
加藤直亮 (住友共同電力)  
寺西研二 (徳島大学)  
藤村直人 (四国総合研究所)  
松本高志 (阿南工業高等専門学校)  
監 事: 吉田正伸 (高知工業高等専門学校)  
九州支部  
支 部 長: 通常総会後の理事会の決議による  
総務企画幹事: 金谷晴一 (九州大学)  
同 : 勝木 淳 (熊本大学)  
会計幹事: 上栞正則 (九州電力)  
同 : 福島 晋 (九州電力)  
協議員: 青木振一 (崇城大学)  
同 : 大村一郎 (九州工業大学)  
川畑秋馬 (鹿児島大学)  
住吉谷覚 (福岡大学)  
高原健爾 (福岡工業大学)  
林 則行 (宮崎大学)  
星野 悟 (安川電機)  
松尾孝美 (大分大学)  
猪原 哲 (佐賀大学)  
今坂公宣 (九州産業大学)  
川崎仁晴 (佐世保工業高等専門学校)  
佐藤浩史 (新日本製鐵)  
末廣純也 (九州大学)  
田邊 隆 (MHI マリテック)

△玉城史朗（琉球大学）  
藤島友之（長崎大学）  
藤吉孝則（熊本大学）  
吉江 修（早稲田大学）  
脇本康夫（東芝三菱電機産業システム）

監 事：稲月勝巳（九州電力）

(4) 平成 24 年度代議員（100 名）

任期は平成 24 年 4 月 1 日～2 年後に実施される代議員選挙終了の時まで

小豆畑茂（日立製作所）  
阿部 健（ダイヘン）  
荒井純一（工学院大学）  
飯尾泰義（東京電力）  
飯田和生（三重大学）  
池田正二（東北大学）  
池田久利（東京大学）  
生駒昌夫（関西電力）  
石田篤志（中部電力）  
伊瀬敏史（大阪大学）  
磯嶋茂樹（住友電気工業）  
一枝圭祐（三菱電機）  
臼田誠次郎（日本工営）  
歌谷昌弘（広島国際学院大学）  
海田英俊（富士電機）  
江川正尚（電力系統利用協議会）  
遠藤 恭（東北大学）  
大久保利一（大分大学）  
大久保仁（名古屋大学）  
太田啓雅（中部電力）  
大西公平（慶應義塾大学）  
大山 力（横浜国立大学）  
岡本達希（電力中央研究所）  
荻原義也（日新電機）  
生越重章（香川大学）  
柁川一弘（九州大学）  
片岡和久（東京電力）  
門脇一則（愛媛大学）  
河崎善一郎（大阪大学）  
河村篤男（横浜国立大学）  
郭 其新（佐賀大学）  
工藤英明（東北電力）  
栗原郁夫（電力中央研究所）  
桑原 祐（愛知電機）  
小島寛樹（名古屋大学）  
齋藤涼夫（東 芝）  
柵山正樹（三菱電機）  
佐々木三郎（電力中央研究所）  
笹谷卓也（デンソー）

佐藤浩史（新日本製鐵）  
塩原亮一（日立製作所）  
渋谷義一（芝浦工業大学）  
島田敏男（電気学会）  
清水教之（名城大学）  
新藤孝敏（電力中央研究所）  
菅原洋一（住友電工ウインテック）  
杉山修一（富士電機）  
杉山博司（明電舎）  
鈴置保雄（名古屋大学）  
鈴木博章（筑波大学）  
薄田春樹（エクシム）  
曾根光男（東海大学）  
田井一郎（東 芝）  
高木 勲（中部電力）  
高木茂孝（東京工業大学）  
瀧澤照廣（日立エンジニアリング・アンド・サービス）  
多久征吾（東芝三菱電機産業システム）  
竹内 昭（中部電力）  
田中秀治（東北大学）  
田中俊彦（山口大学）  
玉井伸三（東芝三菱電機産業システム）  
玉置 久（神戸大学）  
田村淳二（北見工業大学）  
土屋智由（京都大学）  
土井美和子（東 芝）  
中川聡子（東京都市大学）  
中田祐司（日立製作所）  
中谷義昭（三菱電機）  
中村秋夫（関東電気保安協会）  
中村一則（古河電気工業）  
仁井真介（富士電機）  
仁田旦三（明星大学）  
野田正信（関西電力）  
野村喜久（四国電力）  
林 洋一（青山学院大学）  
原 亮一（北海道大学）  
原口芳徳（東電記念財団）  
樋口祐治（東北電力）  
日高邦彦（東京大学）  
福田 隆（関西電力）  
福本 亮（東 芝）  
船曳繁之（岡山大学）  
堀 洋一（東京大学）  
升方勝己（富山大学）  
松岡秀夫（中国電力）  
松木英敏（東北大学）  
松瀬貢規（明治大学）

松本佳宣（慶應義塾大学）  
茂呂征一郎（福井大学）  
柳橋秀幸（金沢工業高等専門学校）  
山岸良雄（北陸電力）  
山極時生（日立製作所）  
山口 博（東京電力）  
山田 浩（富士通研究所）  
山本吉朗（鹿児島大学）  
湯本雅恵（東京都市大学）  
横田岳志（東 芝）  
横山明彦（東京大学）  
吉江 修（早稲田大学）  
吉本浩昌（北海道電力）

### 3. 会議等に関する事項【定款第4, 6章】

会議・委員会等を以下のとおり開催する。

#### (1) 通常総会

平成24年5月24日（木）に第100回通常総会を都市センターホテルにて開催予定。

#### (2) 理事会

年度内に6回開催予定。

#### (3) 各種会議・委員会等

各会議体・委員会は必要に応じ開催し、主要会議等は下記の回数を予定する。

有識者会議：1回

経営戦略会議：適宜

#### ○総務企画関連

総務会議：5回

技術者教育委員会（部会等含む）：30回

広報委員会（HP関連委員会含む）：5回

会員サービス改善委員会：4回

IEEJ プロフェッショナル運営委員会：2回

倫理委員会：4回

表彰委員会：2回

顕彰委員会（小委員会含む）：7回

#### ○財務会計関連

会計会議：5回

#### ○編修出版関連

編修会議：4回

編修委員会（部会を含む）：27回

広告委員会：1回

出版事業委員会（部会を含む）：9回

#### ○研究調査関連

研究調査会議：4回

全国大会委員会（小委員会含む）：4回

国際活動委員会：4回

男女共同参画推進委員会：5回

電気規格調査会：7. に記載する。

#### ○部門関連

##### 部門役員会

A 部門：5回、B 部門：5回、C 部門：5回、

D 部門：5回、E 部門：4回

#### ○支部関連

支部報告会：各支部1回

支部役員会：適宜

### 4. 研究発表会・講演会・講習会および見学会の開催に関する事項【定款第4条1号】

#### (1) 全国大会の充実

企画内容の充実とサービス向上をはかり講演者、聴講者の増加を目指す。

平成25年3月20日～22日 名古屋大学にて開催予定。

#### (2) 一般社会向け公開シンポジウムの実施

東日本大震災後の電気エネルギーへの関心の高まりに応ずるなど社会ニーズに即したテーマを取り上げ、関連する委員会等との連携や社会に対する提言を行うなど、企画方法も工夫しつつ年2回開催を目途として企画実行していく。

次回開催検討テーマ：「今後の電気エネルギーの方向性」

#### (3) 総合力を発揮した支部活動

本部・部門と連携しつつ地域に密着した活動を展開し、技術交流や技術研鑽の場の提供を通じ会員サービスに努め、あわせて会員増加を図る。また、これらの活動においてはIEEJ プロフェッショナルの協力を得る。支部における講演会、講習会、見学会などの開催計画は下表のとおりである

支部	北海道	東北	東京	東海	北陸	関西	中国	四国	九州	計
支部連合大会等	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
一般向け	講演会	1	0	25	1	6	20	1	0	55
	講習会	2	0	1	0	0	0	3	4	10
	見学会	1	1	14	3	1	4	0	0	25
専門家向け	講演会	8	30	4	8	1	1	15	10	87
	講習会	1	1	10	2	1	5	3	1	25
	見学会	1	0	11	2	0	1	3	3	22
発表会関係	1	1	10	2	2	1	1	1	1	20
その他	2	4	37	14	3	9	0	1	20	90
計	18	38	113	33	15	42	27	21	36	343

#### (4) 総合力を発揮した部門活動

本部・支部と連携しつつ各部門の特徴を生かし、コア技術を生かしつつ、新規分野の取り込みや他部門他学協会との連携などの将来展開を考慮して活力ある活動を展開する。部門大会等の開催計画は次表のとおりである。

大会名	開催場所	開催日時
A 部門大会	秋田大学（秋田）	2012.9.20～9.21
B 部門大会	北海道大学（北海道）	2012.9.12～9.14
C 部門大会	弘前大学（青森）	2012.9.5～9.7
D 部門大会	千葉工業大学（千葉）	2012.8.21～8.23
E 部門大会（センサ・マイクロマシンとその応用システムシンポジウム）	北九州国際会議場（福岡）	2012.10.22～10.24

## 5. 会誌および図書の発行に関する事項【定款第4条2号】

### (1) 電気学会誌・論文誌の更なる充実

学会誌は、広範囲な分野からわかりやすく読みやすい記事の企画などに取り組む。

論文誌の完全電子ジャーナル化のフォローを実施。また、電子投稿・査読システムはH24.9月途に全面改良を実施する。

### (2) 世界に向けて情報発信する体制の構築

共通英文論文誌（TEEE）の掲載までの期間短縮とインパクトファクターの向上策の検討を行う。また、D 部門英文論文誌の円滑な発行を目指す。

### (3) 会誌の発行計画は以下のとおり。

#### (a) 学会誌

発行回数：12 回

年間発行ページ数：1,030 ページ（含広告）

発行部数：約 28 万 5 千部／年

掲載記事の企画は編修委員会で検討する。

#### (b) 論文誌（部門誌）

発行回数：12 回／部門

ページ数は以下のとおり。

	A 部門	B 部門	C 部門	D 部門	E 部門	合計
ページ数	1,286	1,750	2,500	1,830	580	7,946

なお、D 部門の IEEJ Journal of Industry Applications（電気学会英文論文誌 D）は平成 24 年 7 月創刊。当面隔月発行とする。

#### (c) 共通英文論文誌

発行回数：6 回（隔月発行）

### (4) 時代の動向や社会のニーズをとらえた出版推進

教科書の分量・内容・価格など教育現場に即した企画・出版を行い、採用増加を図る。また、技術者教育委員会や電気広報特別委員会などと連携し、タイムリーに電気の重要性を発信する企画の検討を行う。

教科書・専門書・啓発書で新刊 6 点の出版を目標とする。

### (5) 教科書等の発行計画は以下のとおり。

#### (a) 教科書・技術啓発書

種別	教科書			技術啓発書			合計		
	新刊	重版	計	新刊	重版	計	新刊	重版	計
発行点数	4	27	31	2	0	2	6	27	33
発行部数	10,000	26,800	36,800	4,000	0	4,000	14,000	26,800	40,800

## (b) 技術報告

	A 部門	B 部門	C 部門	D 部門	E 部門	合計
発行点数	10	16	2	18	0	46
発行部数	2,200	6,200	800	4,000	0	13,200

### (c) JEC（委託出版）

発行点数：4

## 6. 調査・研究の実施に関する事項【定款第4条3号】

### (1) 活動範囲の拡大

「スマートグリッド特別研究グループ」の活動を推進し、適宜シンポジウム開催など成果発表を行う。また、「電気システムセキュリティ特別技術委員会」の活動を軌道に乗せ、下部委員会を設置して具体的な活動を開始する。

昨年度末設置した「スマートコミュニティ実現検討特別研究グループ」によりスマートコミュニティモデルの構築や実現のための課題抽出などを行う。

### (2) 学術情報システムの円滑な運営と拡大

論文検索可能対象を研究会資料・大会論文にも拡大するため国立情報学研究所のシステム活用を開始する。

### (3) 研究調査活動のための委員会活動は以下のとおり。

#### (a) 各種委員会

	A 部門	B 部門	C 部門	D 部門	E 部門	合計
運営委員会	4	4	5	4	4	21
技術委員会	40	41	55	54	13	203
専門委員会	145	163	142	260	25	735
研究会	60	27	44	50	7	188
合計	249	235	246	368	49	1,147

#### (b) 新設委員会

	A 部門	B 部門	C 部門	D 部門	E 部門	合計
技術委員会	0	0	0	0	0	0
専門委員会	8	18	16	26	3	71
合計	8	18	16	26	3	71

#### (c) 解散委員会

	A 部門	B 部門	C 部門	D 部門	E 部門	合計
技術委員会	0	0	0	0	0	0
専門委員会	8	13	12	18	4	55
合計	8	13	12	18	4	55

#### (d) 研究会発表論文件数

部門	A 部門	B 部門	C 部門	D 部門	E 部門	合計
件数	1,100	605	577	800	120	3,202

## 7. 標準の制定に関する事項【定款第4条3号】

電気機械器具および材料などの標準化に関する事項を調査審議し、電気分野における標準化を通して、広く社会に貢献することを目的として、下記に重点を置き活動を推進する。

1. JEC 規格の制定・改正および普及
2. IEC 規格に係わる審議

3. JIS 原案の作成
4. 国内外の標準化機関との協力および連携
5. 電気規格調査会功績賞および功労賞の顕彰
6. IEC 関連の国際会議日本開催，国際会議出席旅費支援

具体的な計画に関しては下記を予定する。

(1) 委員会の開催数

会 議 名	開催数
規格委員総会	1
規格役員会	6
政策委員会	6
表彰委員会	1
IEC 国際活動支援審査委員会	4
部会	15
標準化委員会・IEC 国内委員会	230
JIS 原案作成委員会	10
合 計	273

(2) 標準規格の普及推進

HP 等による情報公開の推進，部門の技術委員会成果の規格化，全国大会・部門大会等を活用した規格の講習会などを継続して実施していく。

(3) 国際標準規格の開発推進

国内外標準化機関との協力および連携をはかり，UHV 関連技術，スマートグリッドなど日本発の規格の国際標準化提案活動を引き続き推進する。

8. 功績の表彰に関する事項【定款第4条4号】

(1) 電気技術顕彰制度「でんきの礎」の発展

「でんきの礎」の第6回顕彰をおこない，全国大会での授賞式の定着化をはかる。

(2) 表彰

功績賞 1 件，業績賞 6 件および電気学術振興賞（進歩賞：9 件，論文賞：9 件，著作賞：1 件），優秀技術活動賞（技術報告賞：9 件，グループ著作賞：1 件以内），特別活動賞：2 件以内の表彰を行う。

(3) 学術振興助成

大会ならびに研究会における優秀論文の表彰

賞 A 部門大会・研究会の論文：80 件

賞 B 全国大会・支部大会の論文：120 件

(4) 名誉員の推薦・フェローの充実

名誉員資格条件を満たす者を，名誉員として推薦する。

また，フェローの認定を継続し拡大を図る。

(5) 学術奨励賞

高校・高専生の電気主任技術者試験合格者表彰制度の周知拡大を図り，第2回表彰を実施する。

(6) 電気規格調査会表彰

標準化活動への貢献者の表彰を行う。

9. 教育に関する事項【定款第4条5号】

(1) 技術者教育の着実な推進と体制の整備

「中核・中小企業向け電気技術者教育事業（電気なつとく塾：登録商標）」を日刊工業新聞社との安定した共同事業として育てていく方策を検討する。

CPD 認定技術者制度の定着と CPD 活動の拡大を図る。

平成 24 年度の「電気学会寄付講義」を 16 校で開講する。

「電気理科クラブ」による理科支援事業を推進する。

パワーエレクトロニクス技術者教育 WG を設置し，講習会を組織的に実施する。

(2) JABEE 認定審査事業の着実な取り組み

3 分野において着実に認定審査を実施する。また，JABEE 審査講習会を電気電子情報系分野の学会と共催で開催する。

(3) IEEJ プロフェッショナルの拡大

IEEJ プロフェッショナルの活動範囲の拡大に対応して認定者の増大を図るとともに，活動に対する支援の強化を検討する。

(4) 技術者倫理教育に関する恒常的活動の推進

技術者倫理研修会やフォーラムの開催，技術者倫理教材の整備など，技術者倫理教育に対する支援を行う。

(5) 若年層の科学・技術離れへの対応

日本工学会の「科学技術人材育成コンソーシアム」に積極的に参画し，初等中等教育支援などの活動推進を図る。

10. 国内外の関係学術団体との協力および連携に関する事項【定款第4条6号】

(1) 国際活動の積極的推進と国際活動が容易にできる仕組みの構築

ICEE（電気技術国際会議）2012 金沢大会の開催と，ICEE 国際ジャーナルの的確な発行を行う。

英文 HP の充実と活用推進を図る。

国際的なステータス向上策の検討と海外学会等との連携方策の検討を行う。

(2) 広範な学会活動の推進

電気・情報関連学会連絡協議会などの関連学会や，日本機械学会，日本技術士会，日本学術会議との定例懇談会など関係団体と定期的な協議の場を継続し，意見交換や諸活動の協調・連携を図る。また，日本工学会「事務研究委員会」に積極的に参画する。

(3) 国際交流助成

対 象 外国学会との交流で海外の研究者・技術者を招聘するための助成（最大 10 件）

海外で開催される国際会議出席者に対する補助（最大 20 件）

海外で開催される電力技術に関する国際的会合の出席者への補助（最大 4 件）

助成総額 310万円

(4) 国際会議の主催

本年度の本部主催国際会議はなし。

(5) 学術団体の講演会等の共催・協賛・後援

(6) 各種団体の研究助成候補者の推薦

11. その他法人運営に関する事項

(1) 新公益法人制度への対応

平成24年4月1日一般社団法人へ移行後の新定款・細則等に基づき、法人運営を的確かつ円滑に行う。

公益目的支出計画の対象である事業を予算に基づき着実に実行する事で、公益目的支出計画を確実に実施する。

(2) 広報の充実

広報委員会を中心とし、定期的なプレスリリースなどマスコミの活用を含めた効果的な広報活動を推進する。

また、HPの構成を見直し充実をはかる。

電気広報特別委員会を継続し、電気に関する社会一般の理解を深める活動を推進する。

(3) 社会への発信力の強化

電気学会諸活動の見える化を進め、将来の電力・エネ

ルギーシステムに関する提言などをタイムリーに発信していく。

また、社会的責任（SR）に関する検討を開始する。

(4) キャンペーン月間「でんきの月」の発展

キャンペーン月間「でんきの月」に関する広報・啓発活動を活発に行い、引き続き第3回イベントを検討する。

(5) 創立125周年記念事業の準備

創立125周年記念事業委員会を中心に、必要な準備を行う。

(6) ITシステムの整備充実

多様な会員サービスにこたえられるWebサイトの立ち上げを検討する。引き続き電子投票システムの導入を検討する。

(7) 財務基盤の整備

今後想定される収支の悪化に対応した財務体質の改善方策の検討を開始する。

事業全般にわたり無駄を省いたシンプルな運営を指向し資金の有効活用を図るとともに、より一層厳正的確な法人運営に万全を期すこととする。

# 平成 24 年度収支予算

## 収支予算書集約表

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	一般会計	特別会計	支部会計	内部取引消去	合計
〔事業活動収支の部〕					
〔事業活動収入〕					
会費・入金収入	271,940				271,940
事業収入	515,348	11,499	11,407		538,254
補助金等収入	18,620		2,280		20,900
雑収入	10,722		87		10,809
他会計からの繰入金収入	5,806		25,895	△ 31,701	0
事業活動収入計	822,436	11,499	39,669	△ 31,701	841,903
〔事業活動支出〕					
事業費支出	630,129	5,504	26,945		662,578
管理費支出	172,375		16,893		189,268
他会計への繰入金支出	25,226	5,995	480	△ 31,701	0
事業活動支出計	827,730	11,499	44,318	△ 31,701	851,846
事業活動収支差額	△ 5,294	0	△ 4,649	0	△ 9,943
〔投資活動収支の部〕					
〔投資活動収入〕					
特定資産取崩収入	27,813	181,600			209,413
他会計からの繰入金収入	180,000		1,600	△ 181,600	0
投資活動収入計	207,813	181,600	1,600	△ 181,600	209,413
〔投資活動支出〕					
特定資産取得支出	8,300				8,300
固定資産取得支出	16,000				16,000
他会計への繰入金支出		181,600		△ 181,600	0
投資活動支出計	24,300	181,600	0	△ 181,600	24,300
投資活動収支差額	183,513	0	1,600	0	185,113
〔予備費支出〕	2,000	0	137		2,137
当期収入合計	1,030,249	193,099	41,269	△ 213,301	1,051,316
当期支出合計	854,030	193,099	44,455	△ 213,301	878,283
当期収支差額	176,219	0	△ 3,186	0	173,033
前期繰越収支差額	△ 76,940	3,576	42,816		△ 30,548
次期繰越収支差額	99,279	3,576	39,630		142,485

**収支予算書総括表**

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	一般会計	特別会計	支部会計	内部取引消去	合計
〔事業活動収支の部〕					
〔事業活動収入〕					
【会費・入金収入】	[271,940]	[ 0]	[ 0]	[ 0]	[271,940]
正員会費収入	169,209				169,209
准員会費収入	1,495				1,495
学生会員収入	8,596				8,596
入会金収入	810				810
事業維持員会費収入	91,830				91,830
【事業収入】	[515,348]	[11,499]	[11,407]	[ 0]	[538,254]
学会誌収入	29,442				29,442
論文誌収入	124,994				124,994
図書収入	110,150				110,150
全国大会収入	37,529				37,529
部門大会収入	49,975				49,975
研究調査収入	57,876		5,668		63,544
支部大会収入			2,619		2,619
連合大会収入			2,600		2,600
セミナー・シンポジウム収入	77,635		520		78,155
技術者教育事業収入	15,027				15,027
電気規格調査収入	12,720				12,720
賞金基金利息収入		340			340
桜井基金利息収入		1,015			1,015
国際交流基金利息収入		1,424			1,424
学術振興基金利息収入		7,293			7,293
支部会計基金利息収入		837			837
公開シンポジウム基金利息収入		590			590
【補助金等収入】	[18,620]	[ 0]	[2,280]	[ 0]	[20,900]
補助金等収入	18,620		2,280		20,900
【雑収入】	[10,722]	[ 0]	[87]	[ 0]	[10,809]
受取利息収入	60		7		67
その他収入	10,662		80		10,742
【他会計からの繰入金収入】	[5,806]	[ 0]	[25,895]	[ △ 31,701]	[ 0]
一般会計からの繰入金収入			25,226	△ 25,226	0
特別会計からの繰入金収入	5,326		669	△ 5,995	0
支部会計からの繰入金収入	480			△ 480	0
事業活動収入計	822,436	11,499	39,669	△ 31,701	841,903
〔事業活動支出〕					
【事業費支出】	[630,129]	[5,504]	[26,945]	[ 0]	[662,578]
学会誌出版費	87,912				87,912
論文誌出版費	89,980				89,980
図書出版費	87,844				87,844
全国大会費	37,888				37,888
部門大会費	51,737				51,737
研究調査委員会費	75,636		11,469		87,105
支部大会費			3,992		3,992
連合大会費			4,975		4,975
セミナー・シンポジウム費	97,335		4,948		102,283
技術者教育事業費	27,804				27,804
電気規格調査費	33,334				33,334
部門費	16,756				16,756
部門活性化費	8,302				8,302
賞金費	15,601		1,561		17,162
賞金基金支出		74			74
桜井基金（海外派遣）補助支出		1,015			1,015
国際会議交流補助支出		1,424			1,424
学術振興表彰等助成支出		2,705			2,705
支部会計基金支出		168			168
公開シンポジウム基金支出		118			118
【管理費支出】	[172,375]	[ 0]	[16,893]	[ 0]	[189,268]
人件費	62,734				62,734
事務費	59,941		16,893		76,834
事務所費	49,700				49,700
【他会計への繰入金支出】	[25,226]	[5,995]	[480]	[ △ 31,701]	[ 0]
一般会計への繰入金支出		5,326	480	△ 5,806	0
支部会計への繰入金支出	25,226	669		△ 25,895	0
事業活動支出計	827,730	11,499	44,318	△ 31,701	851,846
事業活動収支差額	△ 5,294	0	△ 4,649	0	△ 9,943
〔投資活動収支の部〕					
〔投資活動収入〕					
【特定資産取崩収入】	[27,813]	[181,600]	[ 0]	[ 0]	[209,413]
特定資産取崩収入	27,813	181,600			209,413
【他会計からの繰入金収入】	[180,000]	[ 0]	[1,600]	[ △ 181,600]	[ 0]
特別会計からの繰入金収入	180,000	0	1,600	△ 181,600	0
投資活動収入計	207,813	181,600	1,600	△ 181,600	209,413
〔投資活動支出〕					
【特定資産取得支出】	[8,300]	[ 0]	[ 0]	[ 0]	[8,300]
特定資産取得支出	8,300				8,300
【固定資産取得支出】	[16,000]	[ 0]	[ 0]	[ 0]	[16,000]
固定資産取得支出	16,000				16,000
【他会計への繰入金支出】	[ 0]	[181,600]	[ 0]	[ △ 181,600]	[ 0]
一般会計への繰入金支出		180,000		△ 180,000	0
支部会計への繰入金支出		1,600		△ 1,600	0
投資活動支出計	24,300	181,600	0	△ 181,600	24,300
投資活動収支差額	183,513	0	1,600	0	185,113
〔予備費支出〕	2,000		137		2,137
当期収支差額	176,219	0	△ 3,186	0	173,033
前期繰越収支差額	△ 76,940	3,576	42,816		△ 30,548
次期繰越収支差額	99,279	3,576	39,630		142,485

## 一般会計 収支予算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
〔事業活動収支の部〕				
〔事業活動収入〕				
【会費・入金収入】	[271,940]	[286,941]	〔 △ 15,001〕	
正員会費収入	169,209	174,870	△ 5,661	
准員会費収入	1,495	990	505	
学生会員収入	8,596	9,058	△ 462	
入金収入	810	750	60	
事業維持委員会費収入	91,830	101,273	△ 9,443	
【事業収入】	[515,348]	[460,980]	[54,368]	
学会誌収入	29,442	32,896	△ 3,454	
論文誌収入	124,994	123,954	1,040	
図書収入	110,150	105,613	4,537	
全国大会収入	37,529	40,815	△ 3,286	
部門大会収入	49,975	40,230	9,745	
研究調査収入	57,876	62,259	△ 4,383	
セミナー・シンポジウム収入	77,635	24,884	52,751	
技術者教育事業収入	15,027	14,127	900	
電気規格調査収入	12,720	12,070	650	
その他事業収入	0	4,132	△ 4,132	
【補助金等収入】	[18,620]	[13,868]	[4,752]	
補助金等収入	18,620	13,868	4,752	
【雑収入】	[10,722]	[7,590]	[3,132]	
受取利息収入	60	400	△ 340	
その他収入	10,662	7,190	3,472	
【他会計からの繰入金収入】	[5,806]	〔 0〕	[5,806]	
特別会計からの繰入金収入	5,326	0	5,326	
支部会計からの繰入金収入	480	0	480	
事業活動収入計	822,436	769,379	53,057	
〔事業活動支出〕				
【事業費支出】	[630,129]	[616,214]	[13,915]	
学会誌出版費	87,912	90,677	△ 2,765	
論文誌出版費	89,980	90,548	△ 568	
図書出版費	87,844	83,799	4,045	
全国大会費	37,888	39,688	△ 1,800	
部門大会費	51,737	42,009	9,728	
研究調査委員会費	75,636	74,085	1,551	
セミナー・シンポジウム費	97,335	30,271	67,064	
技術者教育事業費	27,804	23,982	3,822	
電気規格調査費	33,334	34,328	△ 994	
支部交付金	0	25,748	△ 25,748	
部門費	16,756	17,847	△ 1,091	
部門活性化費	8,302	8,664	△ 362	
賞金費	15,601	19,579	△ 3,978	
集金費	0	14,335	△ 14,335	
その他事業費	0	20,654	△ 20,654	
【管理費支出】	[172,375]	[171,000]	[1,375]	
人件費	62,734	51,400	11,334	
事務費	59,941	69,700	△ 9,759	
事務所費	49,700	49,900	△ 200	
【他会計への繰入金支出】	[25,226]	〔 0〕	[25,226]	
支部会計への繰入金支出	25,226	0	25,226	
事業活動支出計	827,730	787,214	40,516	
事業活動収支差額	△ 5,294	△ 17,835	12,541	
〔投資活動収支の部〕				
〔投資活動収入〕				
【特定資産取崩収入】	[27,813]	[41,904]	〔 △ 14,091〕	
特定資産取崩収入	27,813	41,904	△ 14,091	
【他会計からの繰入金収入】	[180,000]	〔 0〕	[180,000]	
特別会計からの繰入金収入	180,000	0	180,000	
投資活動収入計	207,813	41,904	165,909	
〔投資活動支出〕				
【特定資産取得支出】	[8,300]	[11,900]	〔 △ 3,600〕	
特定資産取得支出	8,300	11,900	△ 3,600	
【固定資産取得支出】	[16,000]	[9,700]	[6,300]	
固定資産取得支出	16,000	9,700	6,300	
投資活動支出計	24,300	21,600	2,700	
投資活動収支差額	183,513	20,304	163,209	
〔予備費支出〕	2,000	2,000	0	
当期収支差額	176,219	469	175,750	
前期繰越収支差額	△ 76,940	△ 74,410	△ 2,530	
次期繰越収支差額	99,279	△ 73,941	173,220	

### 特別会計 収支予算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
〔事業活動収支の部〕				
〔事業活動収入〕				
【事業収入】	[11,499]	[16,324]	[ △ 4,825]	
賞金基金利息収入	340	334	6	
桜井基金利息収入	1,015	1,259	△ 244	
国際交流基金利息収入	1,424	2,105	△ 681	
学術振興基金利息収入	7,293	11,081	△ 3,788	
支部会計基金利息収入	837	837	0	
公開シンポジウム基金利息収入	590	708	△ 118	
事業活動収入計	11,499	16,324	△ 4,825	
〔事業活動支出〕				
【事業費支出】	[5,504]	[13,971]	[ △ 8,467]	
賞金基金支出	74	0	74	
桜井基金（海外派遣）補助支出	1,015	1,200	△ 185	
国際会議交流補助支出	1,424	2,100	△ 676	
学術振興表彰等助成支出	2,705	7,860	△ 5,155	
支部会計基金支出	168	0	168	
支部交付金	0	2,103	△ 2,103	
公開シンポジウム基金支出	118	708	△ 590	
【他会計への繰入金支出】	[5,995]	[ 0]	[5,995]	
一般会計への繰入金支出	5,326	0	5,326	
支部会計への繰入金支出	669	0	669	
事業活動支出計	11,499	13,971	△ 2,472	
事業活動収支差額	0	2,353	△ 2,353	
〔投資活動収支の部〕				
〔投資活動収入〕				
【特定資産取崩収入】	[181,600]	[1,266]	[180,334]	
特定資産取崩収入	181,600	1,266	180,334	
投資活動収入計	181,600	1,266	180,334	
〔投資活動支出〕				
【他会計への繰入金支出】	[181,600]	[ 0]	[181,600]	
一般会計への繰入金支出	180,000	0	180,000	
支部会計への繰入金支出	1,600	0	1,600	
投資活動支出計	181,600	0	181,600	
投資活動収支差額	0	1,266	△ 1,266	
当期収支差額	0	3,619	△ 3,619	
前期繰越収支差額	3,576	3,576	0	
次期繰越収支差額	3,576	7,195	△ 3,619	

支部分算合計表

(平成24年4月1日より平成25年3月31日まで)

(単位：千円)

科目	全支部合計		支部別予算									
	予算額	前年度予算額	増減	北海道	東北	東京	北陸	東海	関西	中国	四国	九州
(事業活動収支の部)												
(事業活動収入)												
【事業収入】	11,407	12,230	△ 823	420	150	4,649	80	2,700	2,360	568	250	200
研究調査収入	5,668	5,618	50	70	0	2,030	60	700	2,010	568	30	200
支部大会収入	2,619	2,582	37	0	0	2,619	0	0	0	0	0	0
連合大会収入	2,600	3,380	△ 780	350	0	0	0	2,000	0	0	250	0
セミナー・シンポジウム収入	520	650	△ 130	0	150	0	20	0	350	0	0	0
【補助金等収入】	2,280	30,291	△ 28,011	0	0	1,330	0	950	0	0	0	0
補助金等収入	2,280	2,440	△ 160	0	0	1,330	0	950	0	0	0	0
支部交付金収入	0	27,851	△ 27,851	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【雑収入】	87	92	△ 5	1	0	4	80	0	1	1	0	0
受取利息	7	12	△ 5	1	0	4	0	0	1	1	0	0
その他収入	80	80	0	0	0	0	80	0	0	0	0	0
【他会計からの繰入金収入】	25,895	0	25,895	1,376	1,754	4,720	1,524	4,664	5,609	2,053	1,409	2,786
一般会計からの繰入金収入	25,226	0	25,226	1,376	1,754	4,720	1,524	4,664	5,214	1,779	1,409	2,786
特別会計からの繰入金収入	669	0	669	0	0	0	0	0	395	274	0	0
事業活動収入計	39,669	42,613	△ 2,944	1,797	1,904	10,703	1,684	8,314	7,970	2,622	1,689	2,986
(事業活動支出)												
【事業費支出】	26,945	27,979	△ 1,034	1,603	1,286	9,494	1,180	5,000	3,700	1,992	1,100	1,590
研究調査会費	11,469	11,388	81	678	750	2,964	490	1,200	2,650	1,737	400	600
支部大会費	3,992	3,983	9	0	0	3,982	0	0	0	0	0	10
連合大会費	4,975	5,205	△ 230	400	130	0	180	2,500	550	165	500	550
セミナー・シンポジウム費	4,948	5,998	△ 1,050	440	310	2,018	460	1,100	400	20	100	100
賞金・表彰費	1,561	1,405	156	85	96	530	50	200	100	70	100	330
【管理費】	16,893	17,569	△ 676	877	806	1,627	504	3,314	5,860	1,149	900	1,856
事務費	16,893	17,569	△ 676	877	806	1,627	504	3,314	5,860	1,149	900	1,856
【他会計への繰入金支出】	480	0	480	0	0	480	0	0	0	0	0	0
一般会計への繰入金支出	480	0	480	0	0	480	0	0	0	0	0	0
事業活動支出計	44,318	45,548	△ 1,230	2,480	2,092	11,601	1,684	8,314	9,560	3,141	2,000	3,446
事業活動収支差額	△ 4,649	△ 2,935	△ 1,714	△ 683	△ 188	△ 898	0	0	△ 1,590	△ 519	△ 311	△ 460
(投資活動収支の部)												
(投資活動収入)												
【他会計からの繰入金収入】	1,600	0	1,600	0	0	0	0	0	1,600	0	0	0
特別会計からの繰入金収入	1,600	0	1,600	0	0	0	0	0	1,600	0	0	0
投資活動収入計	1,600	0	1,600	0	0	0	0	0	1,600	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資活動収支差額	1,600	0	1,600	0	0	0	0	0	1,600	0	0	0
(予備費支出)	137	179	△ 42	0	50	77	0	0	10	0	0	0
当期収支差額	△ 3,186	△ 3,114	△ 72	△ 683	△ 238	△ 975	0	0	0	△ 519	△ 311	△ 460
(注) 前期繰越収支差額	42,816	40,888	1,928	1,813	2,969	14,912	889	4,458	4,995	5,908	2,383	4,490
(注) 次期繰越収支差額	39,630	37,774	1,856	1,130	2,731	13,937	889	4,458	4,995	5,389	2,072	4,030

(注) 前期繰越収支差額は支部ごとに千円未満を四捨五入しているため、前期繰越収支差額および次期繰越収支差額は、支部ごとに加算した数値と全支部合計の数値では異なる場合がある。